

令和4年9月、新しい社会福祉法人が設立しました。



HPはこちら

主体的な生活を送るための生活力・意思決定の支援

「生活介護 トライフル国分寺」

利用者募集のご案内

(令和5年4月開設 定員20名)

入会個別相談会 10月22日(土)開催

挑戦と再挑戦の機会を

TRYFULL

【特徴】

- 主体的な1日を過ごせる構造化
- 暮らしと仕事を維持する生活力
- 意思決定を支えるポートフォリオ

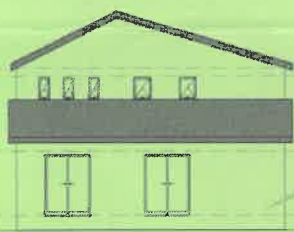
一人一人の意思決定を支援し、
自立的な地域生活を目指します



私たちは、障がいのある利用者の意向を最大限尊重した支援が総合的に提供されるよう創意工夫し、利用者が尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援します。

例えば、宝ものは、18歳～20代前半の発達障害のある人たちの挑戦を支えます。障害のある人は、体験をとおして知識技術を習得し、意思決定する力をつけていきますが、卒業時点でその経験が十分とはいい難いです。そこで、充実した成人期に向けて、生活スキルをじっくり着実に身につけます。

また、宝ものは、40代の知的障害のある人たちの生活の質を高めます。知的障害のある人は、加齢による心身の健康状態の低下が、定型発達の人たちよりも早いことが指摘されています。そこで、40代からの働き方を見直しが必要な方の地域生活を支援します。



2022年冬 新築予定



社会福祉法人
宝もの

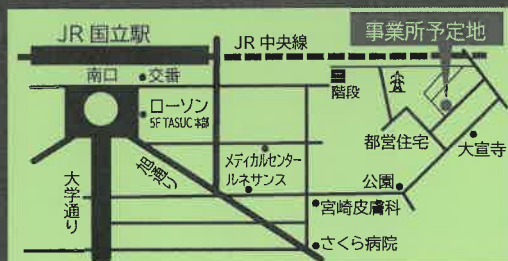
所在地:国分寺市内藤二丁目41-69
(JR国立駅徒歩10分、西国分寺駅徒歩13分)

事務所:国立市東1-4-9ザダイマス5F
TASUC本部内 担当:渡邊・山口

E-mail. takaramono_info@tasuc.com

TEL 042-505-9940

TEL 090-6520-5628



生活介護「トライフル国分寺」の紹介

社会福祉法人宝ものは、通ってくださる方が、意思決定できることを重視します。だから、トライフル国分寺の支援は、“主体的に生きる”ために必要な方法をまとめ、ご本人が活動できるような環境調整をすることから始まります。

ご本人が、「予測可能」で「混乱の少ない」環境であれば、主体的な1日を過ごせます。その上で、静的活動と動的活動の組み合わせで、ルーティンのある生活を組み立てます。

そして、コミュニケーションに困っているご本人の意思決定を支えるために、自分のことを紹介できるように“ポートフォリオ”を作成していきます。自分の仕事、暮らし、体験、気持ちを記録を綴ることで、意思表示をサポートします。

地域との関わりを保っていく
梱包などの軽作業



本人の意思決定を支えるための
ポートフォリオ作成



運動習慣と体力を維持するための
ノルディックウォーク



障害のある人の 生活を支える

人を介さず、自ら判断していく
個に応じたスケジュール管理



洗顔・歯磨きなど清潔さを保つ
身だしなみ等の生活スキル



住んでいる街を自分で歩ける
一人で移動する力



【役員紹介】



社会福祉法人宝もの
理事長 齊藤宇開

- 前職の国立特別支援教育総合研究所で、ASDの教育のための基軸的な行動指標を研究開発して、「J ☆sKeps™（自閉症教育の7つのキーポイント）」として特別支援学校を中心に広く普及。2008年たすく株式会社を起業、科学的根拠に基づく療育内容を「たすくメソッド」として体系化し、一貫性と継続性のある支援体制の構築を目指す。2022年9月末、社会福祉法人宝ものを設立。
- また、公益財団法人日本知的障害者福祉協会人材・育成委員、早稲田大学教育総合科学学術院非常勤講師、東京都立特別支援学校外部専門員(14校)、横浜市教育委員会スクールスーパーバイザーなどを務め、特別支援教育及び障害福祉に携わる支援者の人材育成に携わっている。